

共生

奈良県生協連

2002年1月

NO.43

万葉のいぶきを求めて—(8)



奈良公園(飛火野)の鹿

春日野に 煙立つ見ゆ をとめらし 春野のうはぎ 採みて煮らしも

作者不詳

春日野は今日の奈良公園一帯を中心にして、古くはもっと広く、若草山や東大寺を含む範囲をそう呼んでいたようである。

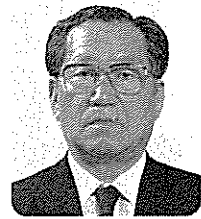
「春日野の方に煙が立っているの見える。ああ若い娘たちがうはぎを摘んで、煮ているんだろうなあ」

うはぎは今日のよめなの事である。万葉の時代、乙女たちが春の野で若菜をつんで煮るのが習わしであったようである。野にあがる煙はのどかな春の訪れを告げる。

万葉の時代の春日野は平城京の郊外ともいえる所で、大宮人たちの絶好の遊び場でもあったが、今日では鹿たちの天国である。乙女たちに代わって鹿たちがのんびりと草を食んでいる。

新年を迎えるにあたって

奈良県生活協同組合連合会
会長 繁田 實造



あけましておめでとうございます。

小泉総理に対する国民の支持率は依然として高いままですが、「小泉構造改革」も時が経つにつれて、実の伴わない名のみものに収斂しつつあるとの声も出てきています。森前総理が声高に叫んだIT革命も期待はずれに終わりました。日本では経済不況が益々深刻化し、大型倒産や、大企業のリストラによって失業者の数が増大し、この先一体どうなることかと、不安ばかりがつのります。

奈良県におきましても、世界的規模、日本的規模で生じている経済不況の波をもろに受けており、奈良県下における流通情勢も大変動を起こしているといえます。

われわれ奈良県生活協同組合連合会に結集する各生協も、当然のこととしてこれらの影響をまともに受けてはおりますが、それにくじけることなく、お互いに情報を交換しあいながら、それぞれのやり方で頑張っております。

昨年も食品安全問題、環境問題、福祉問題および平和問題などいろいろな分野で生協ならではの取組みを精力的に続けてきました。

それらの中での特記すべきものの一つとして、食品の安全に関する取組みがあったといえます。食品添加物・残留農薬問題、ダイオキシン・環境ホルモン問題、遺伝子組換え食品問題、口蹄疫・狂牛病問題、O-157問題など様々な食品の安全問題に関する取組み

がありました。すなわち、奈良県農業協同組合、奈良県森林組合連合会、奈良県地域婦人団体連絡協議会、奈良県青年団協議会、奈良県原爆被害者の会、奈良YMCA、共同作業所、労働団体などと協力しながら、全国で1,373万人の署名を集めて「食品の安全を確保するための、食品衛生法の改正と充実強化を求める請願書」を国会に提出し、また27万人の署名を集めて「奈良県の食品安全行政の充実強化を求める請願書」を奈良県議会に提出しました。国会の方は、第152国会（通常国会）で審議未了に終わりましたが、第153国会（臨時国会）で引続き請願を行い、全会一致で採択されました。奈良県議会では、2001年3月に趣旨採択されるという成果を得ました。このように困難な状況下にあっても、生協らしさを忘れず、生協ならではの取組みをし続けてきました。

ところで、今年の干支は午です。馬といいますと、「天馬空を行く」といわれていますが、新年を機に、今まで以上に生協らしい取組みにおいて、何のものにも束縛されず、自由奔放に取組んでいきたいと思えます。そのためにも、まず供給事業の面からこれらの取組みを支える必要があります。

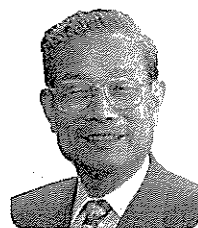
生協らしい「天馬空を行く」取組みをするために、奈良県生協連の下にある組合員の皆さん、今年もお互いに力をあわせて頑張っていきましょう。

もくじ

会長あいさつ.....②	食の安全.....⑧	福祉.....⑪
知事あいさつ.....③	環境.....⑨	広がる協同・くらしの輪.....⑫
生協大会.....④	平和.....⑩	つながる連帯・友好の輪.....⑬

新年のごあいさつ

奈良県知事
柿本 善也



奈良県の消費生活協同組合員、並びに、関係者の皆様、明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、まず、私たちの奈良県のさらなる発展と皆様のご多幸を、心からお祈り申し上げます。

併せて、敬宮愛子内親王様のご誕生を、県民の皆様と共に祝い申し上げたいと存じます。

さて、昨年は、世界を震撼させる事件が起こり、国内でも子どもの痛ましい事件など、われわれの心を寒々とさせる出来事が多過ぎたような気がしております。

今や、物の豊かさではなく、心の豊かさを求め、各々が人としてその存在を実感できるような時代が希求されていると思われまふ。そうした時代の潮流の中で、世界に誇る歴史・文化遺産と豊かな自然環境を有する本県は、人々に心の充足感をもたらす地域として所要の役割を果たしていくべきであり、21世紀こそ「関西の憩いのオアシス」として奈良県の出番であると考えています。

また、社会経済情勢が大きく転回し続けており、各種の構造的課題を直視しつつ、様々の不安要素に、粘り強く、しかも、果敢にチャレンジする発想が必要であります。

今年の県政運営におきましては、これらの今日的な諸課題や本県が置かれた状況などを踏まえつつ、奈良県新総合計画後期実施計画をスタートさせた2年目として、引き続き、できる限りの力を傾注してまいりたいと考えております。

まず、各種の不安要素に対しては、安全・安心等の信頼を築くことを基本目標にして、少子・高齢社会への対応、防災、環境問題等について、可能な諸対策に積極的に取り組みます。雇用問題については、奈良県経済・雇用緊急拡大本部を設置して「雇用創出・需要拡大作戦」を開始していますが、さらに幅広い対策を進めます。

次に、本県の特性を活かした「歴史文化首都『なら』の創生」に向けて、各般の施策を糾合していく必要があり、そのシンボリック事業として平城宮第1次大極殿院の早期復原を促進するほか、広く皆様方からいただいたご意見を参考にして、平城遷都1300年の記念事業の基本計画をまとめます。また、県立万葉文化館は昨秋開館以来ご好評をいただいております。「大和路アーカイブ」も、開かれた観光情報提供システムとして今春から本格稼働します。

快適な環境や基盤の形成については、「なら・半日交通圏道路網構想」が着実に進んでおり、今年も国道169号桜井バイパス、国道369号土屋原バイパス等が完成するほか、JR奈良駅付近連続立体交差事業は、仮設線路の工事に着手する予定となっています。県民の水がめとなる大滝ダムの平成14年度完成や、ごみゼロなど資源循環型社会の実現に向けた施策等も、積極的に推進します。

このほか、奈良県独自の教育改革、男女共同参画社会の環境づくり、NPO・ボランティア活動が促進される社会環境の形成、「電子県庁」の推進をはじめ各般のIT戦略等に、積極的に取り組みます。行財政改革については、行政「執行」から行政「経営」への意識転換に努め、効率的で行き届いた行政サービスを目指します。

私は、知事就任以来、「県民の信頼とふれあい」を最優先としてまいりましたが、今年も、共に考え、共に行動していく県民参加型の県政を進め、開かれた分かりやすい県政運営に最大限の努力を続ける所存でありますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、奈良県生活協同組合連合会、並びに、各生活協同組合のますますの発展と、皆様方のご健勝・ご活躍を祈念して、新年のごあいさつといたします。

第12回奈良県生協大会

— 環境の21世紀へ —

2001年10月27日、奈良県文化会館小ホールにおいて「環境の21世紀へ」をテーマに第12回奈良県生協大会を開催しました。県ならびに各友誼団体よりのご来賓、会員生協理事長、役職員、組合員やその家族、学生組合員など130名の参加があり交流が広がりました。

I部では消費生活協同組合の発展に功績のあった生協役職員に対して知事表彰が行われ、続いてアニメ映画「いのちの地球 ダイオキシンの夏」が上映され、ファミリーで参加の組合員や子供づれの組合員も多く、会場はストーリーへの感動と“美しい地球の未来のために”を、各々の世代を越えて共有し、それぞれの感懐の時を持ちました。またII部では奈良県生協連合会会長賞表彰式が行われ2団体が受賞しました。



大倉部長のあいさつ

◇ 繁田会長のあいさつ

21世紀を環境の世紀へ “今、私たちに求められている行動は”をテーマに、今回の生協大会を開催している。生協は豊かで平和な生活を求めている様々な活動に積極的に取り組んでいるわけであるが、環境問題は生協だけの問題ではなく世界的な問題である。29日から地球温暖化防止を定めた京都議定書発効のための集まりがモロッコ・マラケシュで開催されることになっているが日本は議長国としての責任を果たしたいものだ。一方、アフガニスタンでは空爆が激化している。戦争は最大の環境破壊である。環境を守るという観点から



も報復爆撃による環境破壊を防止しなければならないと考えている。また、奈良県を考えると、大和川が日本で一二を争う汚染川となっている。県民の努力でこの汚名を返上するように頑張らねばならないと考えている。今日は、この後、アニメ映画「いのちの地球 ダイオキシンの夏」を上映することになっているが、青い地球を子ども達、孫達にも残していくために、この映画を観て考え、さらにこの映画に触発されて新しい行動をしていただくことをお願いしたい。

◇ ご出席いただいた来賓の皆さん (順不同)

- | | |
|--------------------|--------|
| ・奈良県生活環境部長 | 大倉 潔様 |
| ・奈良県生活環境部県民生活課係長 | 大前 利隆様 |
| ・同 主査 | 山口 政胤様 |
| ・奈良県農業協同組合中央会総括部部長 | 中村 正之様 |
| ・奈良YMCA所長 | 藤井 辰男様 |
| ・奈良県原爆被害者の会会長 | 市原 大資様 |



◇ 全国から祝電・メッセージ多数をいただきました

知事表彰

市民生活協同組合ならコープ 副理事長
奈良県生活協同組合連合会 専務理事 瀧川 潔氏

市民生活協同組合ならコープの設立に貢献し、以後幹部職員としてならコープの基盤をつくり、1988年以降も常勤役員としてその発展に大きく寄与し、特に県内商品の県内流通消費に尽力され、1990年、奈良県生活協同組合連合会設立に貢献し、専務理事として県内の生活協同組合の発展に尽力され、また、店舗事業の発展及びKネット協同連帯機構の設立に貢献されました。



会長賞

会員生協から2つのサークルが選ばれました。

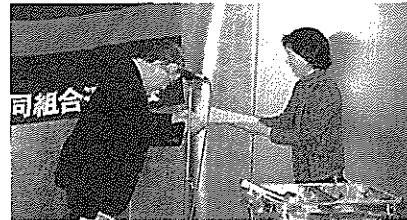
☆ 環境活動推進賞

リサイクルクラブ天理



☆ 福祉・文化活動推進賞

コープたかだ配食サービス「ほっと」



◇ 交流会では、各会員生協、各団体からの報告や紹介があり、交流中、J A奈良中央会から、学園祭他イベント活動へのお米提供の申し出をいただき、おもいがけないプレゼントに、なごやかに交流の輪が広がりました。



奈良県生協連会長賞

環境活動推進賞

リサイクルクラブ天理（ならコープサークル）

子供達にも知ってほしいゴミ問題

【主な活動】

- ・天理市内の保育園、幼稚園（6カ所）をまわりペープサート上演
幼稚園、保育園でのペープサートを通じて子供たちにもゴミ問題を考えてもらう機会を提供している。上演の新聞記事を見て問合せもある。
- ・行政主催の環境をテーマにした催しへ参加・出店
環境フェア、生涯学習フェスティバル等、天理市との信頼関係を築きながら協力的な立場で活動を進めている。
- ・環境施設見学の実施
清掃センター、浄化センターを見学し、リサイクルの実際を学んでいる。
- ・山の辺の道ゴミ拾いハイキングの開催
- ・リサイクル山辺との間で、それぞれの催しに、お互い参加している。

福祉・文化活動推進賞

コープたかだ配食サービス「ほっと」（ならコープサークル）

「ほっと」の2年

「ほっと」はコープたかだオープンの前年、99年春から立ち上げ準備を進め、11月より配食サービスを開始しました。毎月2回、第2・第4木曜日に組合員集会室で調理した手作り弁当を地域の高齢者や身体の不自由な方にお届けしています。現在ボランティアには18名が登録しています。ボランティアになった動機としては――

- | | |
|-------------|----------------|
| ①料理が好きである | ②ボランティアに興味があった |
| ③自分の将来の為になる | ④自分自身の勉強になる |
| ⑤誘われて | という答えが主なものです。 |

専業主婦が大半ですが、仕事を持っている人や、他のボランティアもしながら「ほっと」に関わっている人も少なくありません。朝9時からお弁当作りに取りかかり、できあがると各自担当のお宅へ車を走らせます。いつも私たちを心待ちにして下さっている方の笑顔から「またがんばろう」という力と、ていねいに洗われたお弁当箱をもらって帰ります。中には心を込めたお手紙が入っていたり、新しい交流もはじまりつつあります。現在利用者は16人です。たった2年の間にも体調を崩され、入院を余儀なくされたり亡くなられたり、5名の方が中止されています。たいへん残念なことです。私たちも、お弁当の内容をもっと充実させ利用者に学びながら、一緒に地域で生活していきたいと願っています。できれば、将来はそれぞれの地域で非営利組織「NPO」を立ち上げ、毎日型の配食サービスができたと思っています。

第 12 回奈良県生協大会 アピール

新しい 21 世紀がはじまりました。しかしながら期待とはうらはらに、厳しい世紀あけの状況が広がっています。

10 月 7 日、アメリカでのテロに対する報復としてアフガニスタンで軍事的報復攻撃が開始されました。私たちは卑劣で残忍なテロ行為を絶対に許すことができません。また、テロの犠牲となられた方々や関係者の無念さに思いを致し、心から哀悼の意を表するものです。

しかし、軍事行動による報復攻撃では、報復が報復を産み、果てしのないテロの拡大につながる事が予想され不安が広がるばかりです。人類は今、3 万発といわれる核兵器をもっており、今回の軍事行動によって、核兵器による破壊の連鎖が起こらないとも限りません。今こそまさに、全世界において、国際的な問題の解決は、軍事的行動によるのではなく、国連を中心とした平和的行動による事が求められています。

次に、地球環境の問題です。IPCC の報告によると、地球温暖化防止は待ったなしの状況です。京都議定書の 2002 年発効に向けて議長国としての日本の批准が強く求められています。削減目標を実効性のあるものにするために、事業者、市民、行政が一体となって解決を図らなければなりません。このような連携した取組みは塩素系ゴミの焼却炉から出るダイオキシンの問題についても同様に必要とされます。

最後に、食品の安全の問題も世界的規模に広がっています。昨年来取り組んできた「食品衛生法の抜本的改正と運用の充実強化」、「奈良県の食品安全行政の充実強化」等の食品の安全を確保するための社会的な仕組みづくりが今こそ必要になっています。今回の狂牛病に対する農水省、厚生労働省の対応は、イギリスでの狂牛病発生にもかかわらず、適切な対策をとらず、日本での発生後も、縦割り行政の弊害もあって、消費者の安全確保という視点が弱く、後手後手の対応に追われ、生産者にとっても大きな痛手となりました。この問題は、現在の法整備の不備を如実に物語っています。

これらの、くらしをとりまく不安に対して、私たち生協は、「安心・安全」なくらしの創造をめざし、組合員それぞれが出来る方法で、全国の生協と連帯しながら、また、多くの国民・県民のみなさんの理解を得ながら、取り組んでまいりました。

いまこそ、Think Globally Act Locally の精神の発揮が大切です。生協の 21 世紀理念で掲げた「自立した市民の協同の力で 人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現」をめざして、この奈良の地で協同組合の理念を広げ、地道な活動をひとつひとつ積み重ねて行こうではありませんか。

2001 年 10 月 27 日

奈良県生活協同組合連合会
第 12 回奈良県生協大会

食の安全

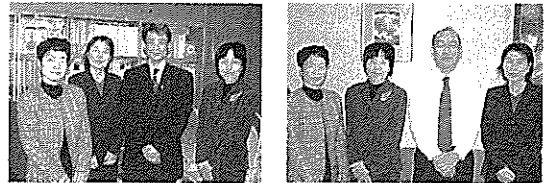
「食品衛生法の改正・運用強化等に関する請願」採択！！

第153回国会（臨時国会）衆参本会議において、「食品衛生法の改正・運用強化等に関する請願」が全会一致で採択されました。この請願は日本生協連の呼びかけに応じて1999年から食品の安全を確保するための社会的なシステムづくりの一環として取り組まれ、全国から寄せられた署名数1,373万筆、542名を上まわる紹介議員のみなさんの力を背景に、国民的な運動となって採択されたものです。今後は、法改正・運用強化に向けて、全国の生協と連携しながら、また、国会議員のみなさんのご協力をいただきながら、積極的な取り組みを進めてまいります。

紹介議員等として

ご協力いただいた国会議員のみなさん

荒井正吾議員・家西 悟議員・植田至紀議員
奥野誠亮議員・高市早苗議員・滝 実議員
中村哲治議員・森岡正宏議員



（以上五十音順）

議員会館にて

採択された請願

食品衛生法の改正・運用強化等に関する請願

近年、O-157、狂牛病、ダイオキシン、環境ホルモン、或いは遺伝子組み換え食品など、食品の安全性に関わる新しい問題が続発しています。これらは科学技術の高度化、食品流通の国際化が背景にあり、問題の発生も国際的に同時多発し、国内にあっては大規模化しているところに特徴があります。

これまで食品の安全を確保するための行政は、食品衛生法の下に食中毒対策をはじめ、食品添加物の規制や農薬の残留基準の設定などが行われてきました。今日までの積み重ねを更に進め、消費者の安心をより確保できるものに充実させていくことが求められます。また、今日世界にも共通する食品の新しい安全問題に対処するには、法改正を含めて食品の安全行政の抜本的な整備強化が求められるところです。特に、今回の日本における狂牛病は、予防的な措置や情報公開、原因追跡が可能なシステムの確立など、国民の健康確保の視点からの抜本的な制度整備が早急に求められることを示しています。

その際、欧米をはじめとした国際的な動向である、行政と事業者や消費者との情報交換や意見交換の制度の整備、充実も、今日的に食品の安全・安心を確保するうえで重要です。

「国民の健康」や「食品の安全性の確保」といった行政目的を明確にして制度全般を整備すると共に、運用過程への国民参加、情報公開の制度化などが検討される必要があります。天然添加物を含めた食品添加物の規制や農薬、動物用医薬品の残留規制のあり方、或いは表示基準のあり方について、これまで以上に国民の安心を確保できるものにしていくための措置が検討される必要があります。また、化学物質や新技術に関わる研究や検査体制を充実させることも強く求められます。

については、このような状況を認識し、食品の安全と国民の安心を確保するための行政措置を拡充するとともに、法律の改正等、所要の措置を早期に検討されることをお願いいたします。

環 境

<ならこむ12月号抜粋>

ISO14001水準運用の環境方針（ならコープ）

環境方針

ならコープは食品を中心とした商品の供給及び共済・サービスの事業を行っています。

これらの活動、商品、サービスによる環境影響の大きな項目について、技術的かつ経済的に可能な範囲で目的・目標を設定し、環境負荷の軽減と汚染の予防、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

市民生活協同組合ならコープは環境保全の活動を生活協同組合の理念に関わるものと位置付け、持続可能な循環型社会の形成をめざし、地域社会とともに取り組みをすすめます。

実践する具体的内容

1. 環境関連の法令、条例、その他受け入れを決めた要求事項を遵守します。
2. 環境配慮型商品の定義付けを行い、積極的に供給します。
3. 事業活動に伴う電気使用量を抑制し、事務用紙の使用量削減、事業系廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
4. 排ガスによる環境汚染物質を軽減するため、車両の切り替え等をすすめます。
5. 買い物袋持参運動を積極的に呼びかけレジ袋の使用量を抑制します。また商品の容器包装削減および内掛け袋のリサイクルの研究をすすめます。
6. 容器包装および共同購入カタログリサイクルをすすめ回収量の増加を図ります。
7. 組合員による環境保全活動を積極的に支援します。
8. この環境方針をならコープ内外に公表し、定期的に環境報告書の発行を行います。また方針の具体化をはかり、実現のために全職員への周知・教育を行います。

環境目的（2004年3月の到達）

ならコープ全体の目的

環 境 方 針	環 境 目 的	実施部署
電気使用量の抑制	電気使用量を2000年度実績対比98%に削減	全事業所
紙の使用量の削減	事務用紙使用量を2000年度実績対比98%に削減	全事業所
廃棄物の削減	店舗での廃棄ロス削減、物流での梱包材の削減を行い、事業系廃棄物の削減をすすめる。	全事業所
車両排ガスの発生の削減	車両からの排気ガスの発生を2000年度実績対比98%に削減	共同購入
	車両の切り替え計画の策定	人事総務部
環境配慮型商品の定義と普及	環境配慮型商品の定義づけ、商品リストの作成を行い、普及をする。	商品部
容器包装の削減	買い物袋持参率79%の維持	店舗
リサイクルの推進	リサイクル回収の2000年度対比120%達成	店舗 共同購入

エコオフィスを推進するため、ならコープで働くすべての人が守るルール

- ① エアコン使用時は室温基準を厳守します。室温基準：冷房時26度以上、暖房時20度以下
- ② 1時間以上席を離れる場合はパソコンの電源を切ります。
- ③ 共有スペース（会議室・休憩室・トイレ）の電源（エアコン・照明）は退出時に必ず消灯します。
- ④ 事務用紙使用時は両面印刷もしくは裏紙利用を基本とします。廃棄物・リサイクルは分別ルールに従い所定の場所に捨てます。

平和

ノーマア・ウオーのつどい2001

あの頃、子どもたちはどうしていたの？

12月8日、ノーマア・ウオーのつどい2001（主催 ならコープ・共催 奈良県生協連）があすなろ苑で開催され、子どもたちを含め96名の参加がありました。「あの頃、子どもたちはどうしていたの？」と、谷山清さん（元奈良教育大付属小学校教諭）が、戦前・戦中の暮らし、子どもたちの学校でのことや遊びのことを振り返りながら、敗戦後の新しい憲法や教育基本法のもとで、今まで正しいと思っていたことが実は間違いだったと目覚め、何が正しいかを、自ら考え、見極める力を持つことの大切さが話されました。また会場では、大根めしの試食や当時の様々な遊び道具が準備され、大人たちは、こどもの頃に帰った気分で遊びました。



アメリカの未臨界核実験に抗議!!

核兵器廃絶を願う世界の世論に逆行するアメリカの14回目の未臨界核実験に抗議しました。今回は、9月11日ニューヨーク・ワシントンを襲った卑劣なテロ攻撃の後を受けて強行されたもので、テロの報復のためには核戦争も辞さずという強い意志を込めたものでした。

2001年10月1日

アメリカ合衆国大使館 気付
ジョージ・W・ブッシュ大統領 閣下

未臨界核実験実施に抗議します

貴国が今回実施した14回目の未臨界核実験は、核兵器廃絶を求める世界の世論に逆行し、かつ他国にも核開発の口実を与えるものであり断じて許すことはできないものです。ブッシュ大統領になってから初めての今回の実験実施には、核兵器廃絶を求める私たちは激しい怒りを禁じ得ません。

核実験の禁止を進めようとする世界的機運の中で、臨界前とはいえ、核兵器の維持・向上を目指す実験をおこなうことは厳しく批判されるものです。昨年の包括的核実験禁止条約（CTBT）批准を上院で否決したことを始め、最近のCTBTそのものを死文化しようとしている貴国の姿勢は断じて許すことはできません。

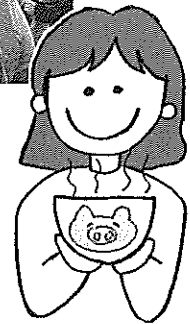
改めて、貴国がただちにこうした核実験を中止し、昨年の核不拡散条約（NPT）再検討会議において決められた、核軍縮の誓約を果たすとともに、21世紀にただちに核兵器を廃絶するための具体的な施策をとることを求めます。

奈良県生活協同組合連合会

雨のひまわり号列車

11月3日、まさかまさかの雨の中、今年で13回目となるひまわり号列車（ひまわり号を走らせる奈良実行委員会主催）は総勢350名を乗せ、爽りの秋を迎えた山城・多賀へと出発しました。朝9時35分にJR高田駅を出発したひまわり号列車は、JR天理駅・奈良駅でそれぞれ仲間を乗せて11時8分JR山城多賀駅に到着しました。天気が良ければフルーツラインでみかん狩りを楽しむはずでしたが、結局1日中雨がやむことはなく山城多賀駅近くの多賀小学校体育館をお借りし、お弁当を食べてからカラオケ大会などで楽しい時を過ごしました。途中、焼きいもの販売があったり、雨にもめげずみかん狩りに行

った人たちからのみかんが届いたり、今年はおいしいひまわり号列車となりました。なかでも好評だったのが、お弁当の時振るまわれた豚汁でした。外は冷たい雨。でもこの温かくてだしの良く効いた豚汁で、みんなほっと一息つけたようでした。



— 雨でも楽しいひまわり号列車 —

はじめてひまわり号列車に参加しました。奈良県生協連からは8名がボランティアで参加しました。私は車椅子の方の介助を担当させていただきましたが、介助の経験が全くなかったので、とても不安な気持ちで参加しました。でも、車椅子の方が優しい方でいろいろとお話することができ、瀧川専務や男性ボランティアの方が車椅子を押ししたり持ち上げたりという力仕事を担当して下さり、付き添いの看護婦さんがいてくださったので私自身も安心して楽しく1日を過ごすことが出来ました。さあ、来年のひまわり号列車は一体どこに行くのかな？今から楽しみ・楽しみ…。

(河原 寿子)

広がる協同・くらしの輪

第2回あすなら祭り

9月22日あすなら苑において開催されました。上田大和郡山市長、繁田育てる会会長のあいさつの後、地元川西町の太鼓でオープンしました。20数団体によるバザーや、地元小学校児童の演奏など、入居者、ボランティア、各福祉団体や地元の人達との交流で、楽しいひとときを過ごしました。



食の安全懇談会打ち合わせ会議

11月19日ならコープ本部において開催しました。「奈良県の食品安全行政の充実強化を求める請願」の趣旨採択を受けて、消費者、生産者それぞれの立場から問題意識を出し合い、今後の方向性について次のことを確認しました。①団体としての参加が難しい場合、個人としての参加も受け入れられるものとする。②農業の問題やチェック体制の問題などどこまで踏み込むのかという問題については、JAは生産者の立場でもあるので意見交換やアドバイスをいただきながら進めること。③食の問題に関わる学習と県民（消費者や生産者）の意見を集約する機能を持ちたいこと。懇談会を積み重ねて実績を作り、県の関係部局との関係づくりをすすめていくことが大切であること。

(参加=JAならけん女性部、地婦連御所校区生活学校学園大和、消費生活相談員連絡会、ならコープ、県生協連、計14名)

ボランティア国際年YMCAセミナー

(主催 奈良YMCA国際・地域奉仕センター)

10月27日奈良YMCAにおいて、「難民問題の現状と国際的保護・援助」と題して、川村真理さん(神戸大学大学院国際協力研究科博士課程)を講師に開催されました。世界の難民の現状と国際的援助と保護がどのように行われているのか、また、難民を生み出す要因について考えました。

奈良県林野火災消火訓練紀伊半島三県合同防災訓練

(主催 奈良県・高取町・明日香村・中和広域消防組合消防本部・奈良県消防協会)

10月16日高取町県民運動場において、林野火災を想定し開催されました。奈良県生協連では、県との災害物資供給協定に基づき、炊き込みごはんの材料の搬入を行いました。

近畿府県合同防災訓練

(主催 近畿府県災害対策会議)

10月31日三重県名張市と上野市において、震度6~7の地震発生による大規模災害を想定し、近畿府県合同防災訓練が行われました。三重県生協連の要請により、全国的支援体制を確立する立場で、奈良・京都・和歌山の府県生協連から訓練に参加しました。



近畿農政局との懇談

11月13日近畿農政局において、伊藤局長はじめ農政局から31名、生協から17名の参加で開催されました。伊藤局長から「食料・農業・農村基本法のもとで、日本の食料自給率の向上、食生活の見直し、生産者と消費者の連携強化、安全・安心の確保、食品リサイクル法など生協の皆さんと連携して進めたい」等のあいさつ後、各生協での取組み報告、農政局各部署から情報提供をいただき、意見交換を行いました。



伊藤局長あいさつ

2001年度 第2回生協・行政協議会

11月15日奈良県文化会館において、県から藤本次長はじめ3名、生協から8名の参加で開催しました。2002年度要望書に基づき、「奈良県の食品安全行政の充実強化」「消費者・生産者連携強化」「環境活動強化」「福祉活動強化」「消費者行政の充実強化」「災害時における県民生活の安定を図る」「子育て支援」「男女共同参画」の施策に関して回答をいただき、意見交換を行いました。



元気を広げる広報活動

(主催 京都府生協連・大学生協京滋・奈良地域センター 後援 奈良県・滋賀県生協連)

12月1日せいきょう会館において開催されました。漫画家のオダ・シゲさんより「四コママンガの意味するものと私」と題しお話をいただいた後、会員生協での広報紙の取り組みについて報告がありました。奈良県立大生協から広報紙活動を通じて学生が元気になり、学校が活気づいていることが報告されました。



関西地連府県連協議会・高知県知事との懇談

11月21日高知城ホールにおいて、食の安全を確保する運動、府県連の運営改善の取り組み、府県連の対外活動の取り組みについての交流の後、橋本知事との懇談、森を守る県民会議との意見交換を行いました。橋本知事との懇談では、生協からの質問に対して、住民参加の視点を大切にした運営に取り組んでいること、森林県として森を守る視点から水源税の検討、山の日を条例で定める等、県独自の取り組みについて返答いただきました。



橋本知事を囲んで

つながる連帯・友好の輪

奈良労済生協

—全労済近畿奈良県本部（奈良労済）創立40周年記念イベント「親と子のふれあいチャリティー劇場」開催!!—

去る12月2日（日）に「やまと郡山城ホール」にて、全労済近畿奈良県本部（奈良労済）創立40周年イベント「親と子のふれあいチャリティー劇場」を開催いたしました。

人形劇カッパ座による公演は、第1部が全労済オリジナル劇「いま始めよう一人でも一つでも」、第2部は「オズのまほうつかい」を催し、ご招待者や職域・地域の方をあわせて900名の方々にご参加いただきました。

大ホール入り口で、サンタさんからプレゼントを直接手渡された子供たちは、大喜びでした。役職員一同、大変やりがいがありました。

このチャリティー劇場の入場料全額を「奈良県社会福祉協議会」を通じて各施設に、車椅子を寄贈させていただくこととし、公演に先立ち、「車椅子贈呈式」を開催いたしました。

奈良県社会福祉協議会を代表いたしまして阪本守常務理事にご出席いただき、全労済奈良県本部和崎理事長より目録を贈呈させていただきました。これを受けて阪本常務様より感謝状を和崎理事長へ授与され、常務様よりご挨拶をいただきました。

記念イベントも無事終了し、役職員一同、この40年の節目の年を契機として、事業と運動の発展に向けて、邁進する所存でございます。

これからもご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。（推進2課 上田）

40 全労済 奈良県本部(奈良労済)40周年記念イベント
親と子のふれあいチャリティー劇場



奈良県立大学生協

—奈良県立大学生協活動報告—

以前、このコーナーで報告させていただいた「オムライス」から、パート職員の小林さんと新たに10月から仲間になった細川さんのアイデアで、更にたくさんのメニューが増えました。今回新たに加わったのは「ライスコロケ」「カツとじ」「オリジナルサラダ」「温泉卵」です。「肉じゃが」「筑前煮」「クリームシチュー」も数日間出しました。今の食堂の合言葉は「心も体もホッとする食堂にしよう」ということで、組合員さんとの会話もホットです。

また秋華祭ではJ A奈良中央会の方からいただいた米を使って、学生が考案した「おにぎり」を5種販売しました。食べた学生さんの評判は「このお米おいしい」「キムチおにぎりおいしい」と上々でした。J A奈良中央会の中村さん、本当においしいお米をありがとうございました。（崎濱店長）

奈良女子大学生協

年末に向けて慌ただしく、厳しい状況がありました。職員一同、日夜学生さんの生活応援をする努力をしました。12月7日（金）から、クリスマス企画（ウィンディー1回生後期企画）準備に入り、12月11日（火）コーヒーを楽しんでもらう集い、テイastingパーティ企画を奈良スターバックスの協力を頂き実施しました。

また、新入生向けに奈良の情報マップアンケートを集めています。

次に、奈良女子大学文学部附属中等教育学校の生徒1年生～5年生のメンバー8名（20名中）と先生2名とで懇談し、楽しく元気に生協のお店作りが動き出しました。

（GGF委員会＝ご飯食べて元気一番フレッシュ委員会）
（竹内専務理事）

奈良教育大学生協

—奈良教育大学生協の状況について—

奈良教育大学生協に着任してはや6ヵ月が過ぎております。学内では2年後にひかえた独立法人化と教育系大学の再編課題に対してどう進んでいくのか？ 就職対応においてもますます厳しさを増しています。このような環境の中で学生数は毎年50人ずつ減少し、3年後には4年生学生総数は1,000人になり更に厳しさを増すと考えています。このような中、今年の事業状況はどうかと言うと、食堂は予算比ではマイナスですが、前年はクリアしそうです。問題点は客単価のダウンです。購買は新学期需要に対する取り組み不足、機器関連の供給ダウン、日用品関連の品揃え不足等が重なり前年を大きく割り込みました。更に、書籍では教科書関連の供給ダウン並びに文庫、雑誌が大きく落ち込んでいます。このまま推移していくと今年の事業剰余はマイナス280万と見込んでいます。更に、書籍在庫内容の問題もあり雑損失にて120万計上予定であり我々小単協にとっては、大変厳しい決算結果になると予測しています。ただ、厳しいと言うだけでは供給自体の改善には結びつきませんし、これからでもすぐに改善出来る事はどんどん改善していきたく行動していきます。大学内はある意味で閉鎖的なところがあり、学生組合員自体の生協での買い上げをあげる事は世間一般よりは楽と考えています。組合員が要望する商品、安全な商品等を品揃えする事で学内でのシェアを今よりも5%くらいアップする事はそんなに難しい事ではありません。只、組合員の参加並びに組合員の声を聞く姿勢になっていない事が大きな問題と言えます。この姿勢をまず第一に改める事ができれば供給高アップはそう時間をかけずに改善出来ていくと考えます。次年度は事業計画改善の第一年目として積極的に乗り出します。(宮崎専務理事)

ならコープ

—BSE(牛海綿状脳症)発生への対応—

9月に国内ではじめて「BSE」が発見され、消費者・組合員の不安が募りました。特に11月末に2頭目が発見されてからは、原因解明が進まないことへのいらだちと、「まだ出るのではないか」との不安から、買い控え傾向に拍車がかかりました。

こうした中、ならコープでは組合員の不安を解消するために、5回に渡ってニュースや掲示物を作成して情報提供を進めてきました。組合員からは「コープが正確に情報提供してくれたおかげで安心した」との声も上がり、これがきっかけで加入された方もありました。

しかし、牛肉の消費回復の道りは厳しく、取引生産者からは「国産牛肉存亡の危機」との声も出されています。食をめぐるっては厳しい年明けとなりましたが、日本の畜産を守るという意味でも、奈良県生協連と共に食品の安全行政を求めていきながら、組合員への国産牛肉の普及にもあらためて取り組んでいきたいと思っています。

—コープ真美ヶ丘リフレッシュオープン—

11月23日、1990年に香芝市真美ヶ丘ニュータウンにオープンして以来10年振りに「コープ真美ヶ丘」のリニューアルを行いました。11月18日から5日間休業し、特に生鮮売場の拡張などを行って「ゆったり買いやすくして」「品揃えを増やして」など組合員の声に応えました。

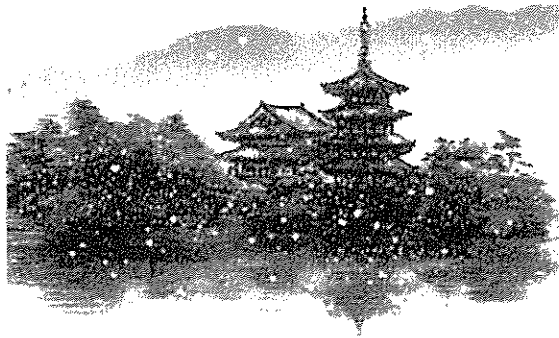
(青木広報課長)

奈良工業高等専門学校生協

謹んで新春のお慶びを申し上げます。奈良高専生協は、学生委員が期待以上に積極的で、昨年はこれまで以上に他大学生協との交流などを活発にできたと自負しております。

また本年度中に、新しい職員を迎え、2人体制になる予定です。これを機に新規事業への取り組みを進め、より組合員の要望に応える生協を目指していく所存です。本年もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。(鍵本専務理事)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 9/13 理事長交流会 | 11/3 ひまわり号列車 |
| 20 京滋・奈良地域センター
奈良ブロックたちあげ会議 | 13 近畿農政局との懇談会 |
| 22 第2回あすなら祭り | 15 第3回理事会
第2回生協・行政協議会 |
| 10/9 奈良労済生協創立40周年記念祝賀会 | 17 平和行進責任者会議 |
| 12 奈良市清掃業務審議会専門部会 | 19 食の安全懇談会打ち合わせ会議 |
| 16 奈良県林野火災消火訓練紀伊半島三
県合同防火訓練 | 21 府県連協議会 |
| 24 食品衛生法改正請願提出組合員集会 | 12/1 元気を広げる広報活動 |
| 27 第12回奈良県生協大会 | 6 県連責任者会議 |
| 31 近畿府県合同防災訓練 | 8 ノーモア・ウオーのつどい |



編集後記

▽皇太子妃雅子様に敬宮愛子様がお生まれになった。コウノトリが届けてくれる日をお二人でひたすら待つておられたことだろう。愛情をいっぱいを受けてお育ちになる新宮様の姿が目には浮かぶようだ。女児誕生でいよいよ二十一世紀は本当に女の時代になるかもしれない。
(寿)

▽昨年末に、十代の若者達が教育テレビで「戦争」をテーマに、各々の考えを話しているのを聞いて彼らとの年齢差に見合う成長が自分にはない！トホ…、十代はあんなに真摯で前向きなんだ！と思つた。年齢を重ねることにより、学習を積み知識を広げ吸収すればするほど、争いと訣別していける大人になっていなければ恥ずかしいことだと実感し、そして明けた新年である。
(恭)

▽昨年の今ごろは、新世紀が人間らしいくらしの創造の世紀にと期待をいだいたが、最近、暗い話ばかり、痛みを伴う改革として、医療、年金、住宅、税制等々で国民負担の増加、倒産・リストラによる失業率の増加等で生活に窮する国民が増えてきた。一方、テロを契機に自衛隊の海外派遣、国民の不満が高まる中での平和憲法改正の世論づくり等々、この先、子供達の時代はどうなるのか。ノーモア・ウオー。十二月八日が何だったのか無関心の人が増えてきた。今まさに平和の大切さに目覚めなければならない。
(俊)